

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1)調査時点 平成 22 年 4 月 1 日

(2)調査対象期間 平成 22 年 1 月～3 月期の実績および平成 22 年 4 月～6 月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業+食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業+諸業部会より各 30 社、計 150 社を抽出し郵送により調査した。

3. 回収状況

	企業数	回答企業数	回 答 率
商業+食品業部会	30 社	16 社	53.3%
水産業部会	30 社	15 社	50.0%
機械工業部会	30 社	17 社	56.7%
建設業部会	30 社	19 社	63.3%
観光・サービス業+諸業部会	30 社	15 社	50.0%
合 計	150 社	82 件	54.7%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

Ⅱ. 概 況

－業況は横ばい次期好転見込み－

1. 全体の動き(業況)

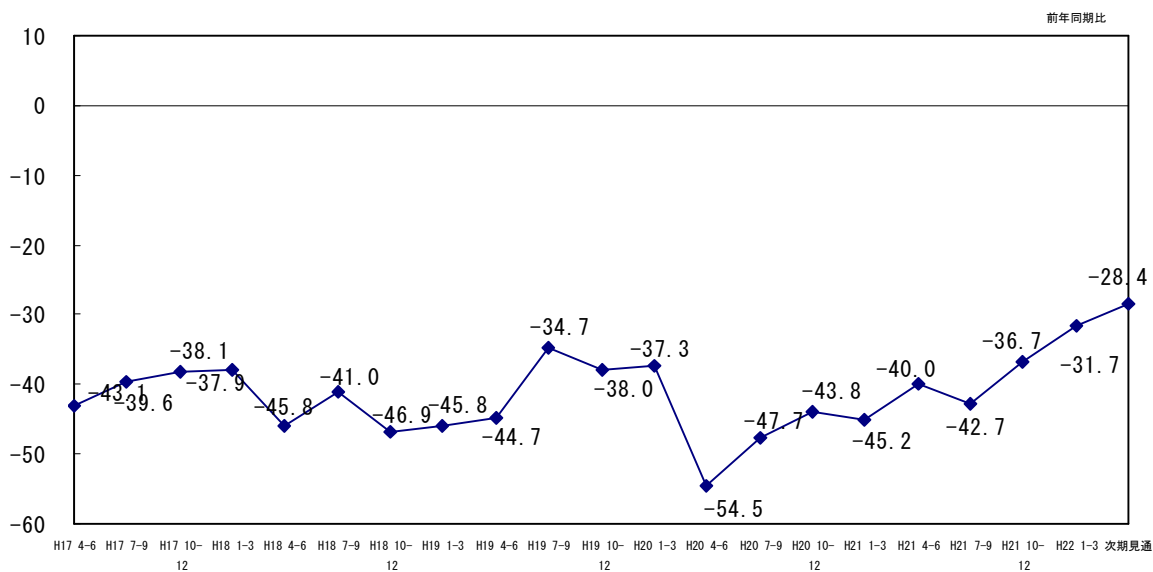
四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期(平成22年1月～3月)の全業種平均DI値**(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、**前年同期比では△31.7**と前回調査時の△36.7からやや回復傾向にある状況となりました。H16年度の調査以来マイナス30%台からマイナス50%台を常に行ったり来たりし、1年を通してみると第一四半期以降、業況指数は改善傾向に振れているものの、市内経済を取り巻く経営環境は緩やかながら厳しい状況が続いております。

部会別で前年同期比ベースをみると、商業・食品業 [前期△41.2→今期△31.3]、水産業 [前期△18.8→今期△40.0]、機械工業 [前期△16.7→今期△29.4]、建設業 [前期△26.3→今期△15.8]、観光・サービス・諸業 [前期△75.0→今期△46.7] となりました。業況は依然マイナス水準で推移しているものの、**商業・食品業と建設業、観光・サービス業**においてはマイナスながらも**やや改善する動き**がみられ、今後の期待されます。反面、冬期休業状態であった**水産業**については全体的には業況が悪くなっている状態であり、今後の漁業再開後の水揚げ状況、卸値相場の行方などを注目したい。また、自動車関連業種である**機械工業**も前期の回復からやや悪化へと転じている。

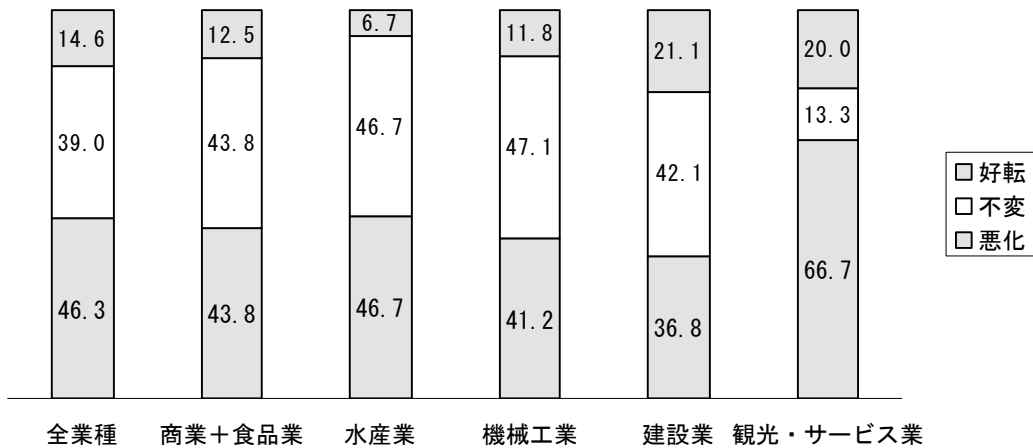
来期(平成22年4月～6月)については、今期と比べて**業況判断DIが3.3ポイント改善**するとの見通しであり、平成20年4月以降回復傾向にあることがグラフとなって現れている。

紋別商工会議所 景気動向調査(業況の推移)

(好転－悪化)



今期の業況（前年同期比）



経営上の問題点としては、**需要の停滞**が水産業以外の全業種で訴えられており、人口減少やデフレへの懸念なども心配されている。

■部会別の動向

【商業・食品業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）△31.3（前期△41.2、来期見通し△33.3）〕

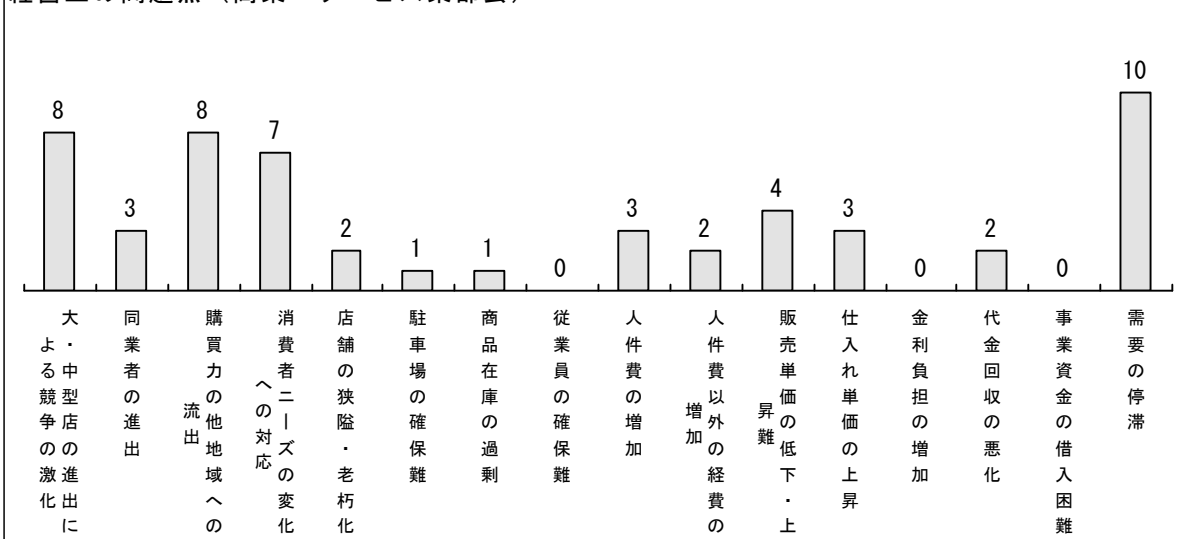
業況DI値（前年同期比）は、前期よりも数字面では改善しておりますが、厳しい状況には変わりありません。依然として消費者の買い控える状態が続いており、人口の減少や長引く景気低迷による購買力の低下を訴える声が多く寄せられています。来期見通しも横ばいで厳しい状態ですが、夏物商戦に向けての期待を持ちたいところです。

経営上の問題点としては「需要の停滞」に加え、「購買力の他地域への流出」「大・中型店の進出による競争の激化」を訴える声が多く寄せられています。

《業界の問題点等》

- ・ショッピングセンター、ショッピングモール、量販店、通販、ネット販売等による消費動向変化、多様性、ライフスタイルの変化による小売り専門店の存在感が希薄になっている。店舗の周囲に駐車場が欲しい。消費者の価値観にも変化が…「物」の豊かさから、「心」の豊かさへシフトしている感じがします。（趣味・娯楽への投資）（小売）
- ・中心市街地に人が来ない。日・祝日はゴーストタウン！（小売）

経営上の問題点（商業・サービス業部会）

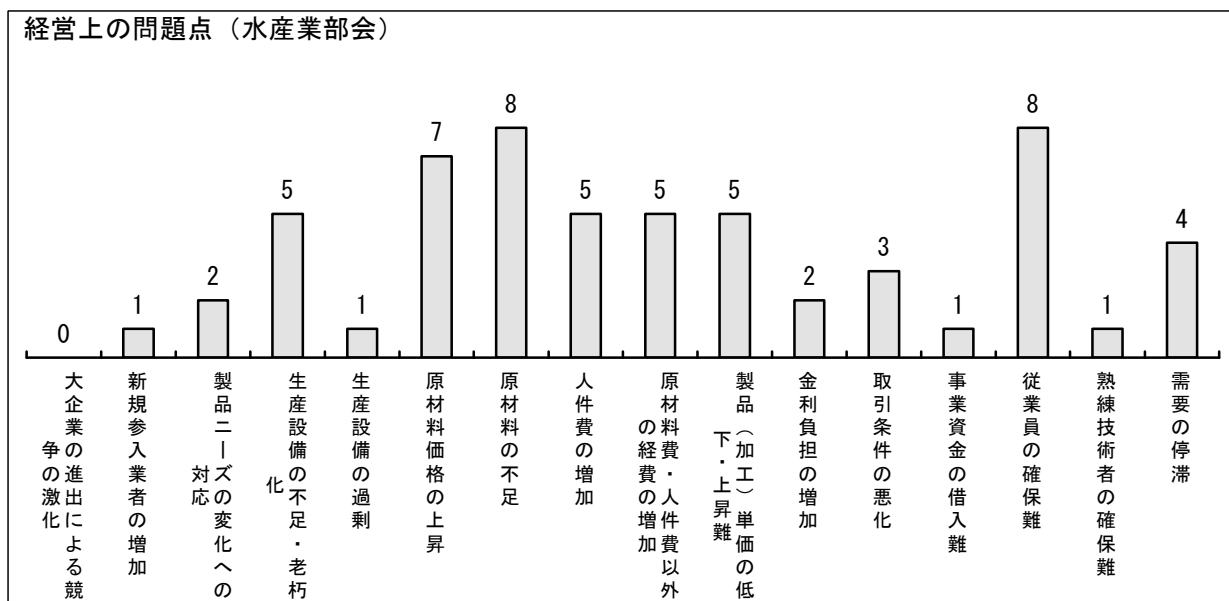


【水産業部会】 [業況判断DI値(前年同期比)△40.0(前期△18.8、来期見通し△13.3)]

流水が去った浜の状況は、依然厳しい状況で推移している。しかしながら漁協の決算は昨年実績を下回るものの大幅黒字決算で終わり、活カニの輸入量も平成21年は平成20年を凌ぐ量となっているとの報道がされています。毛ガニの水揚げ量もまずまずの漁獲量で今後の本格シーズンを期待していきたい見通しとなっている。経営上の問題点としては「原材料の不足」「従業員の確保難」「原材料価格の上昇」などがあげられています。

《業界の問題点等》

- ・ 昨年同様原料不足(水産加工)
- ・ ①前年後半より、消費者の消費形態に変化が見られる。 ②買い方が小口化、小分け方で大口の購入やまとめ買いが少なくなっている。 ③前年売上確保が厳しい状況にある。(水産加工)



【機械・工業部会】 [業況判断DI値(前年同期比)△29.4(前期△16.7、来期見通し△11.8)]

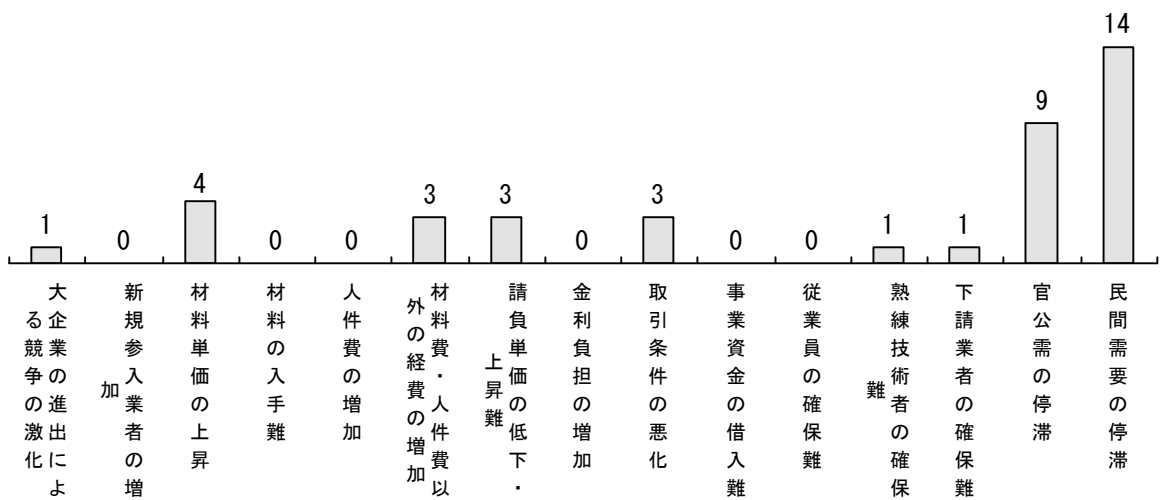
前期の調査段階の時に来期見通し△58.8と悪化を予想した業況判断DI値ですが、今期は半分のDI値で推移しました。来期見通しはエコカー減税の継続などによる緩やかな景気回復を改善するとの見方がでております。

経営上の問題点としては、「民間需要の停滞」「官公需の停滞」などが寄せられています。

《業界の問題点等》

- ・ 人口減、デフレ、政府の無策(自動車修理)
- ・ 調査時期(1~3月)は車の移動がないので、色々な面で悪化します。年間調査票と考えます。(機械修理)

経営上の問題点（機械・工業部会）



【建設業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）△15.8（前期△26.3、来期見通し△31.6）〕

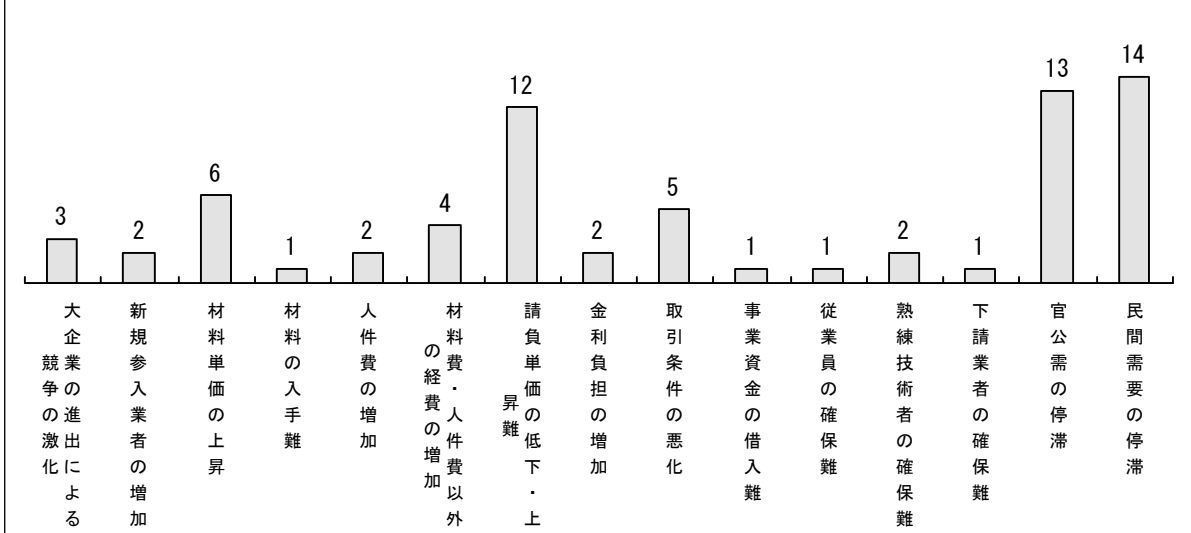
今期のDI値は前回調査の時の来期見通し△57.9を上回り大きく改善した。今後夏シーズンに突入し、工事量の増加や土木建築工事が増えることを期待したいところですが、公共工事の削減が強まっている中、異業種転換を本気で考えたいという声も徐々に増えてきている。

経営上の問題点としては「民間需要の停滞」「官公需の停滞」「請負単価の低下・上昇難」などがあげられています。

《業界の問題点等》

- ・信用取引への不安（建設）
- ・①人口の減少により個人住宅の低迷 ②新規参入に対しての資格取得による経費増（電気工事）

経営上の問題点（建設業部会）



【観光・サービス部会】〔業況判断DI値（前年同期比）△46.7（前期△75.0、来期見通し△53.3）〕

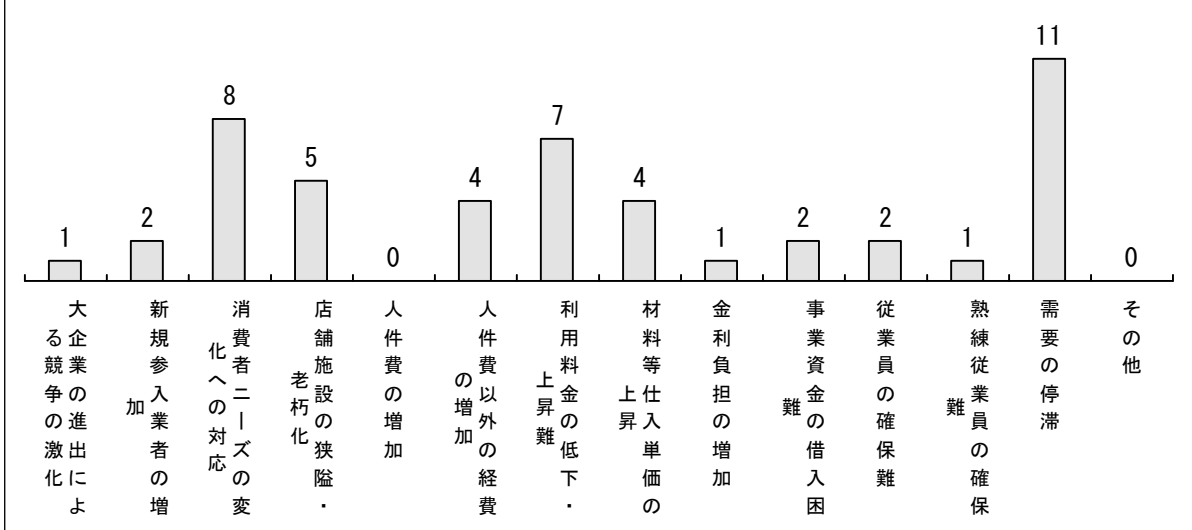
業況判断DI値（前年同期比）は前回調査よりは回復したものの、依然として厳しい状況が続いております。全業種の景気状況に左右される業種だけあって、サラリーマンの給与所得の減少や景気低迷による買い控えの影響で売上が減少し、特に飲食関係では市内事業所が経費を抑えるために接待交際費の節減などの影響を受け、さらに経営内容を苦しい状況に追い詰められ、悲鳴を上げているのが現状です。

経営上の問題点としては、「需要の停滞」「消費者ニーズの変化への対応」「利用料金の低下・上昇難」などがあげられています。

《業界の問題点等》

・ 解決策なし。少しでも経費を削減するのみ。(理容)

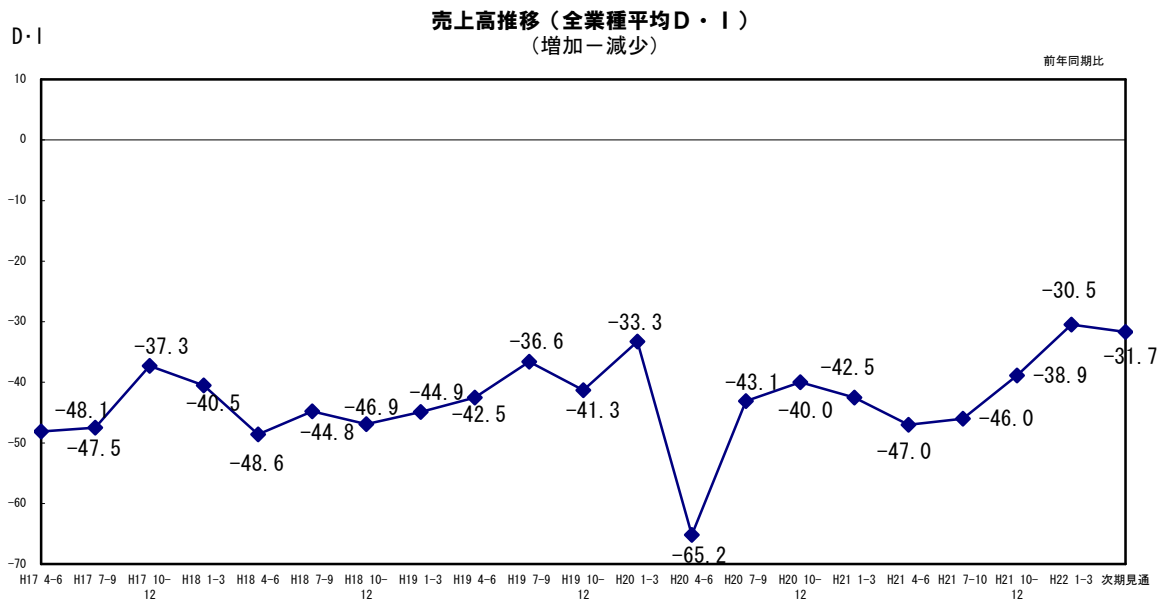
経営上の問題点（観光・サービス業部会）



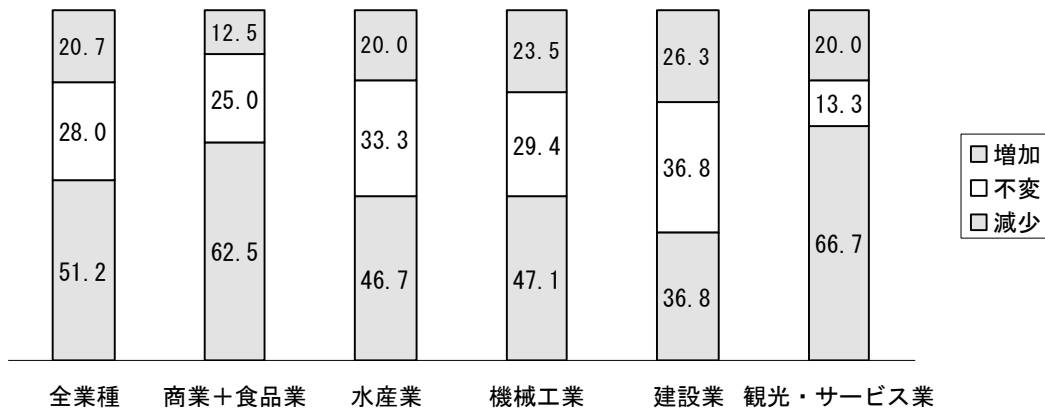
2. 今期の動向

(1) 今期の売上高・生産高

【前年同期比】（平成 21 年 1 月～3 月期の水準と比較した今期の売上高）



今期の売上高・生産高（前年同期比）

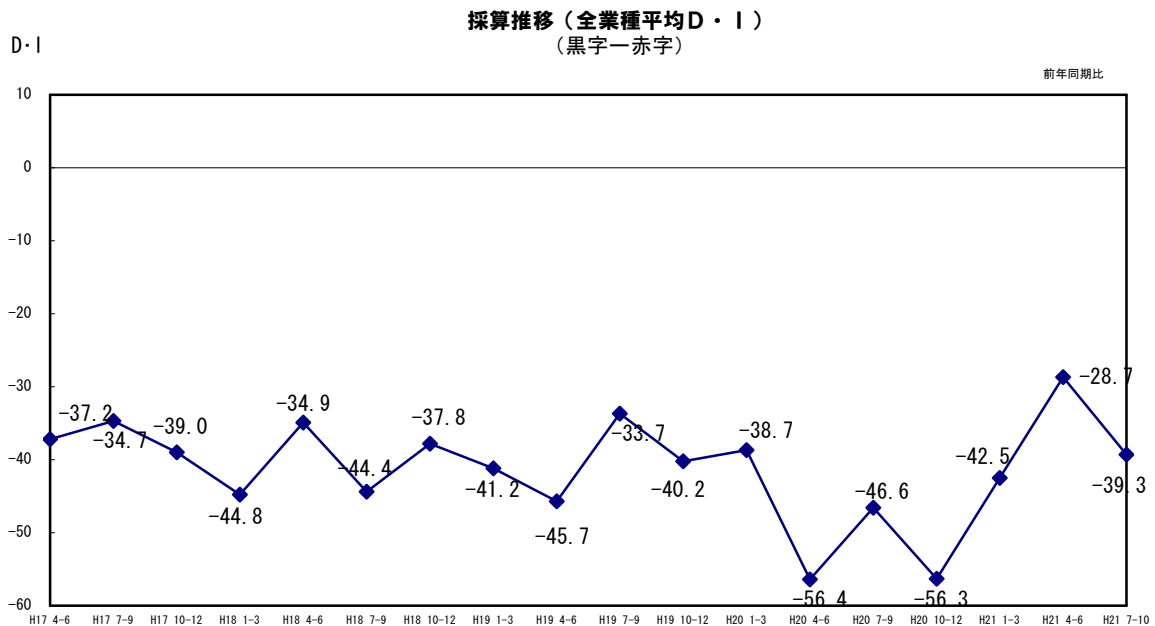


全業種平均でDI値△30.5〔前回調査時（平成21年10～12月期△38.9）より8.4ポイント悪化〕。

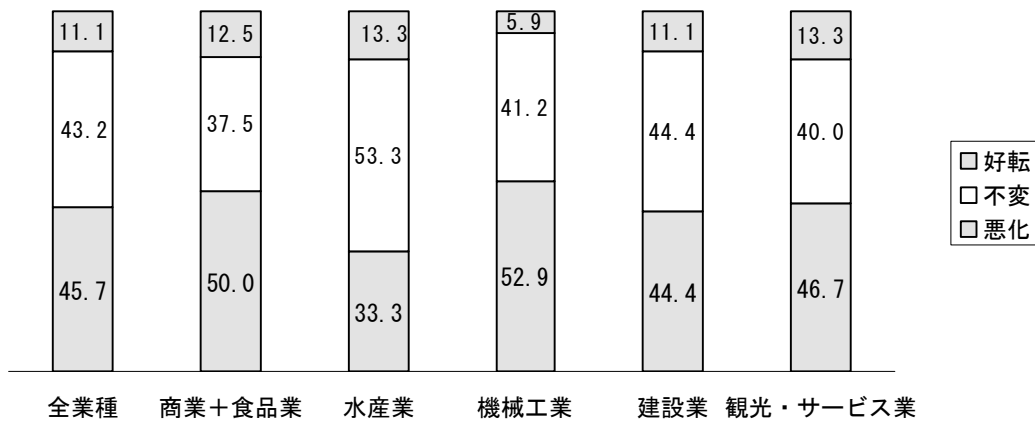
【部会別DI値】 商業・食品業〔前回△29.4→△50.0〕、水産業〔前回△43.8→△26.7〕
 機械工業〔前回△16.7→△23.5〕、建設業〔前回△21.1→△10.5〕
 観光・サービス業〔前回△80.0→△46.7〕

(2) 今期の採算

【前年同期比】（平成21年1月～3月期の水準と比較した今期の採算水準）



今期の採算（前年同期比）

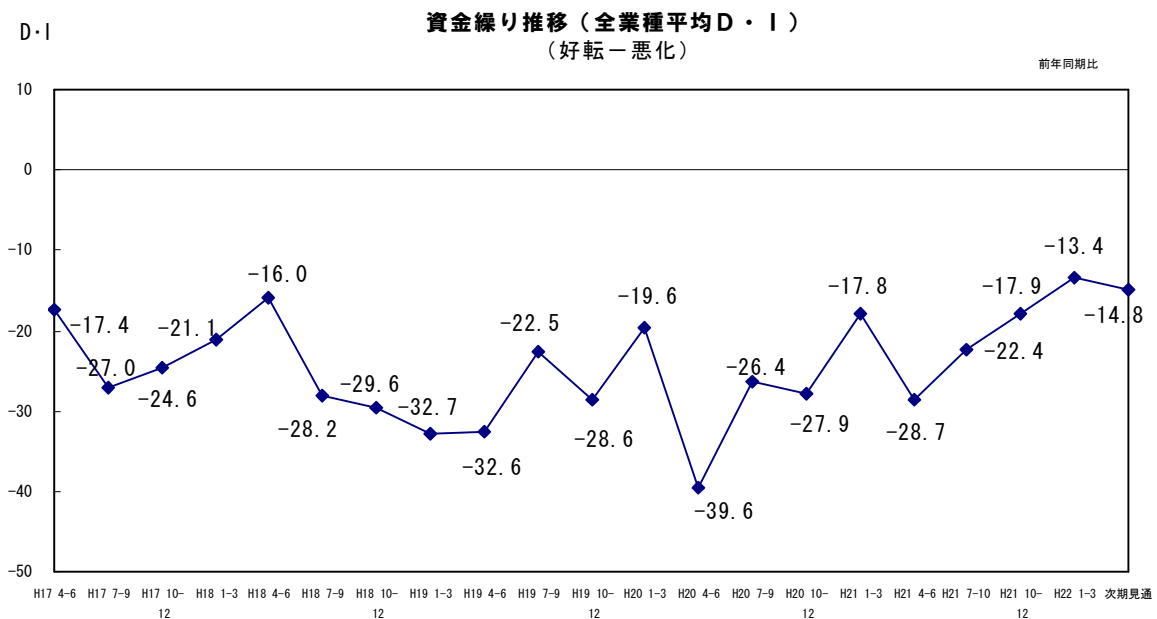


全業種平均でDI値 $\Delta 34.6$ 〔前回調査時（平成21年10～12月期 $\Delta 33.7$ ）より0.9ポイント悪化〕

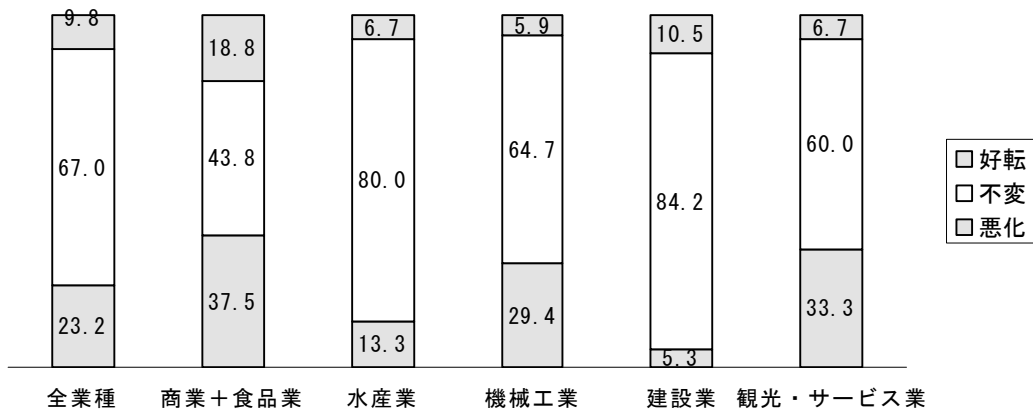
【部会別DI値】 商業・食品業〔前回 $\Delta 23.5 \rightarrow \Delta 37.5$ 〕、水産業〔前回 $\Delta 25.0 \rightarrow \Delta 20.0$ 〕
 機械工業〔前回 $\Delta 22.2 \rightarrow \Delta 47.1$ 〕、建設業〔前回 $\Delta 36.8 \rightarrow \Delta 33.3$ 〕
 観光・サービス業〔前回 $\Delta 52.6 \rightarrow \Delta 33.3$ 〕

(3) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成21年1月～3月期の水準と比較した今期の資金繰り）



今期の資金繰り（前年同期比）



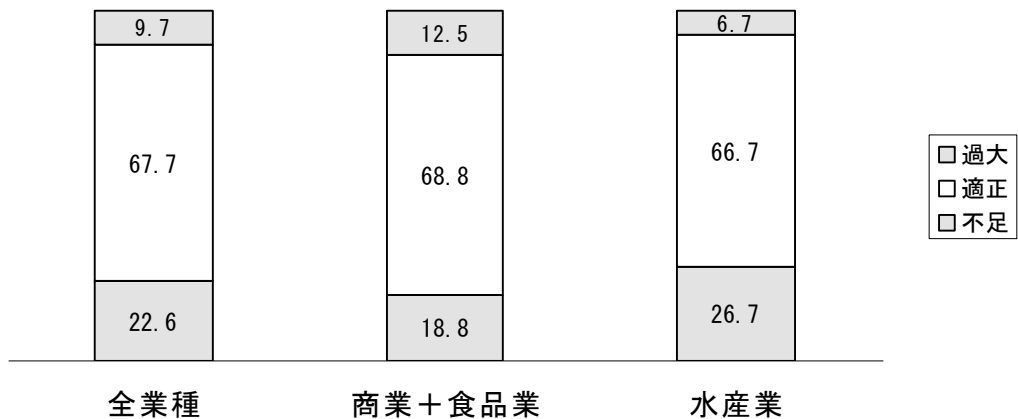
全業種平均でDI値 $\Delta 13.4$ 〔前回調査時（平成21年10～12月期 $\Delta 17.9$ ）より4.5ポイント改善〕

[部会別DI値] 商業・食品業〔前回 $\Delta 17.6 \rightarrow \Delta 18.8$ 〕、水産業〔前回 $\Delta 25.0 \rightarrow \Delta 6.7$ 〕
 機械工業〔前回 $\Delta 0.0 \rightarrow \Delta 23.5$ 〕、建設業〔前回 $\Delta 10.5 \rightarrow 5.3$ 〕
 観光・サービス業〔前回 $\Delta 36.8 \rightarrow \Delta 26.7$ 〕

(4) 今期の在庫水準

【前年同期比】（平成21年1月～3月期の水準と比較した今期の在庫水準）

今期の在庫水準（前年同期比）



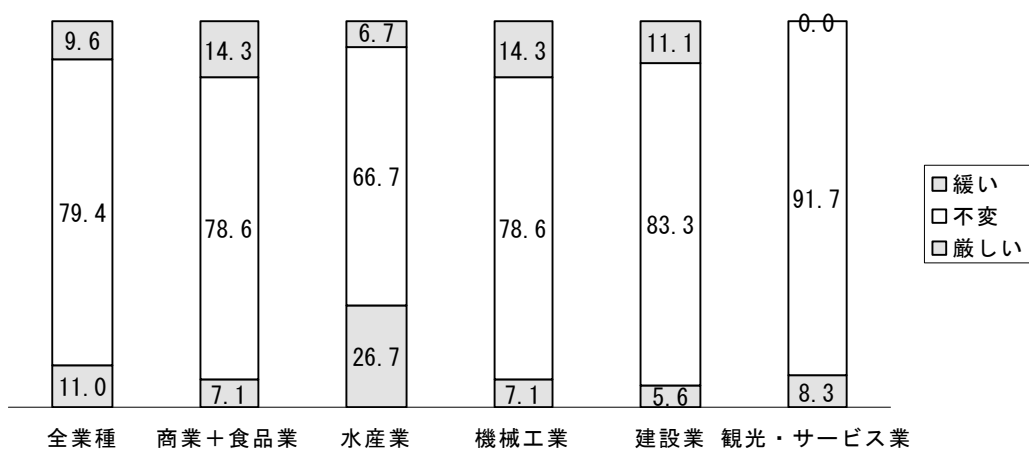
全業種平均でDI値 $\Delta 12.9$ 〔前回調査時（平成21年10～12月期 $\Delta 15.1$ ）より2.2ポイント在庫増加〕

[部会別DI値] 商業・食品業〔前回 $\Delta 11.8 \rightarrow \Delta 6.3$ 〕、水産業〔前回 $\Delta 18.8 \rightarrow \Delta 20.0$ 〕

(5) 今期の金融機関の貸出姿勢

【前年同期比】（平成 20 年 1 月～3 月期の水準と比較した今期の金融機関の貸出対応）

今期の金融機関の貸出姿勢

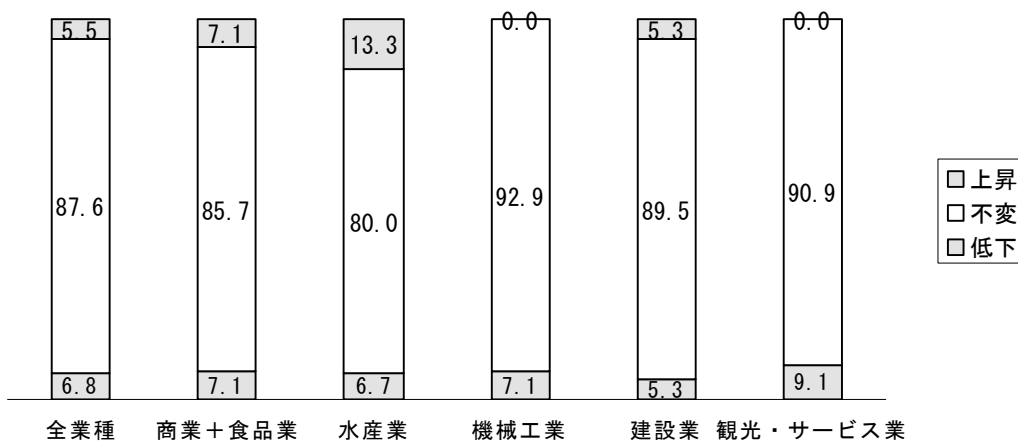


全業種平均で△1.4 ポイント。商業食品業 7.1 水産業△20.0 機械工業 7.1 建設業 5.6 観光サービス業△8.3

(6) 今期の借入金の金利水準

【前年同期比】（平成 21 年 1 月～3 月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準）

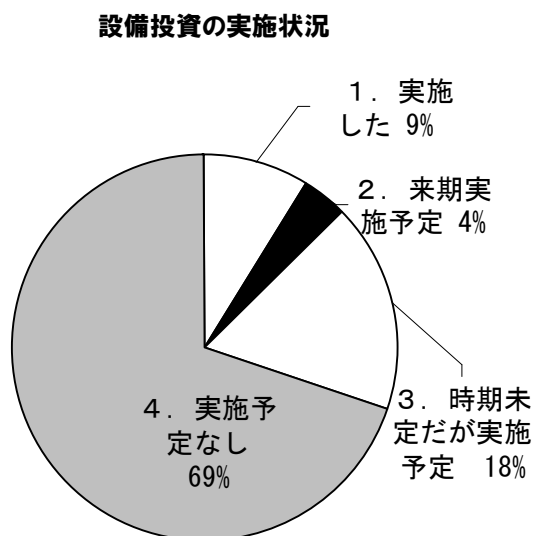
今期の借入金の金利水準



全業種平均で△1.3。商業食品業 0.0 水産業 6.7 機械工業△7.1 建設業 0.0 観光サービス業△9.1。

(7) 設備投資の実施状況

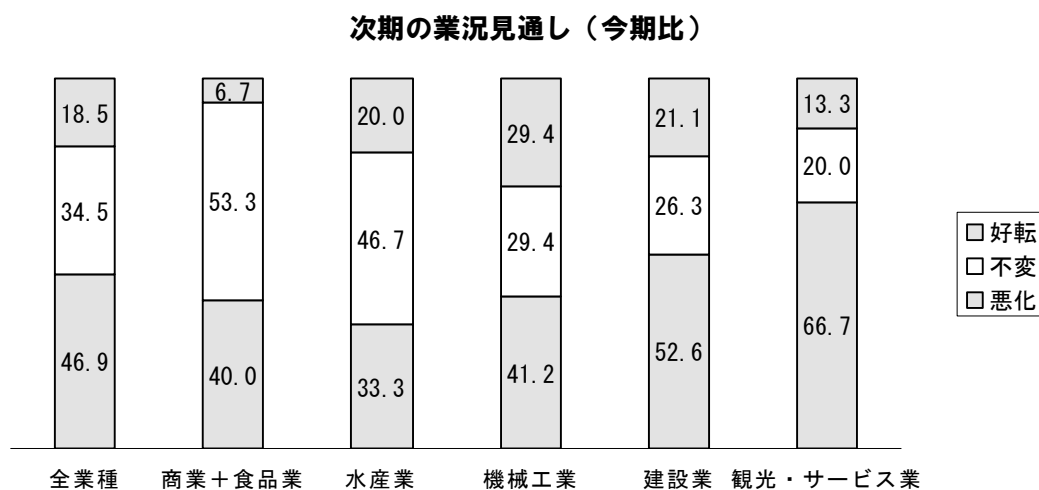
今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について



3. 来期の見通し

(1) 来期の業況

【今期比】（平成22年1月～3月期の水準と比較した来期の業況見通し）

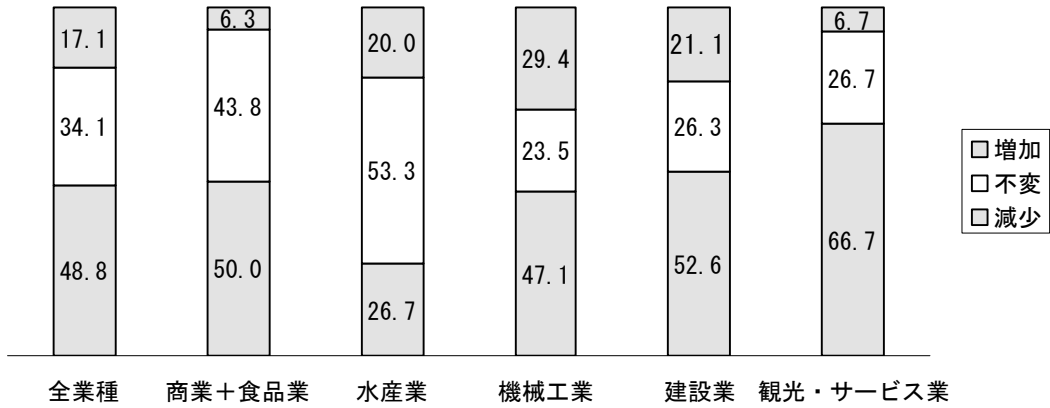


全業種平均DI値 Δ 28.4〔今期の業況（前年同期比 Δ 31.7）より3.3ポイント改善の見通し〕

(2) 来期の売上高・生産高

【今期比】（平成 22 年 1 月～3 月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）

次期の売上高・生産高見通し（今期比）

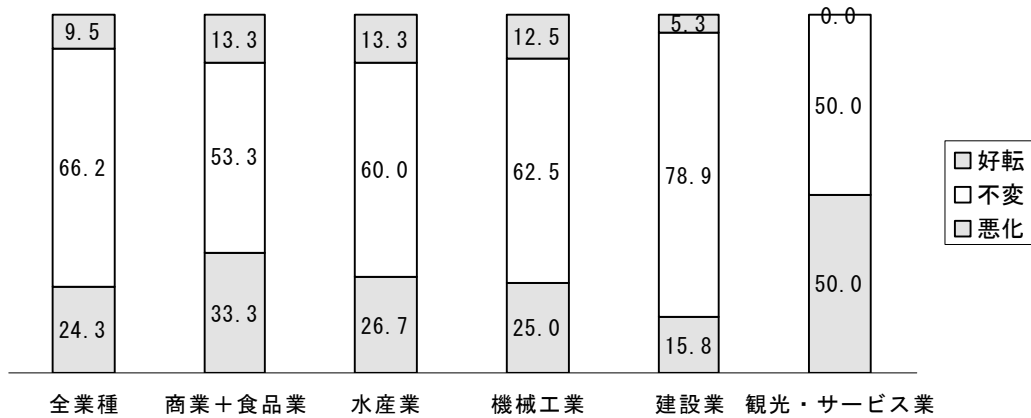


全業種平均 DI 値 $\Delta 31.7$ [今期の売上高・生産高（前年同期比 $\Delta 30.5$ ）より 1.2 ポイント悪化の見通し]

(3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（平成 22 年 1 月～3 月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）

次期の資金繰り見通し（今期比）



全業種平均 DI 値 $\Delta 14.8$ [今期の資金繰り（前年同期比 $\Delta 13.4$ ）より 1.4 ポイント悪化の見通し]

Ⅲ. 各 指 標

		全 体	商 業 食 品 業	水 産 業	機 械 工 業	建 設 業	観 光 サ ー ビ ス ・ 諸 業
業況判断 D・I	今期実績	△31.7	△31.3	△40.0	△29.4	△15.8	△46.7
	来期見通し	△28.4	△33.3	△13.3	△11.8	△31.6	△53.3
売上 D・I	今期実績	△30.5	△50.0	△26.7	△23.5	△10.5	△46.7
	来期見通し	△31.7	△43.8	△6.7	△17.6	△31.6	△60.0
在庫 D・I	今期実績	△12.9	△6.3	△20.0	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採算 D・I	今期実績	△34.6	△37.5	△20.0	△47.1	△33.3	△33.3
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	△13.4	△18.8	△6.7	△23.5	5.3	△26.7
	来期見通し	△14.8	△20.0	△13.3	△12.5	△10.5	△50.0
金融機関 貸出姿勢 D・I	今期実績	△1.4	7.1	△20.0	7.1	5.6	△8.3
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
借入金 金利水準 D・I	今期実績	△1.3	0.0	6.7	△7.1	0.0	△9.1
	来期見通し	—	—	—	—	—	—

※借入金金利水準D・I値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。